

広報 まき

1980

9/10

第347号

発行／新潟県巻町 編集／企画課

昭和53年11月2日第3種郵便物認可

毎月2回 10日・25日発行 1部10円

ぼくのは

どれかな？

四ツ郷屋区民運動会



九月七日の日曜日、四ツ郷屋グラウンドでは「四ツ郷屋区民運動会」が開催されました。

ゲームの途中で雨が降り出す悪天候にもかかわらず、三百人以上の住民が参加。とかく浮世はままならぬ競争（写真）や、親子とりゲーム、親子おどり、ザル引き競争などの種目に、幼児から老人までグラウンドせましと熱中し、楽しい秋のファミリー運動会を心ゆくまで満喫しました。

人口 28,790 (+27)

男 14,108 (+15)

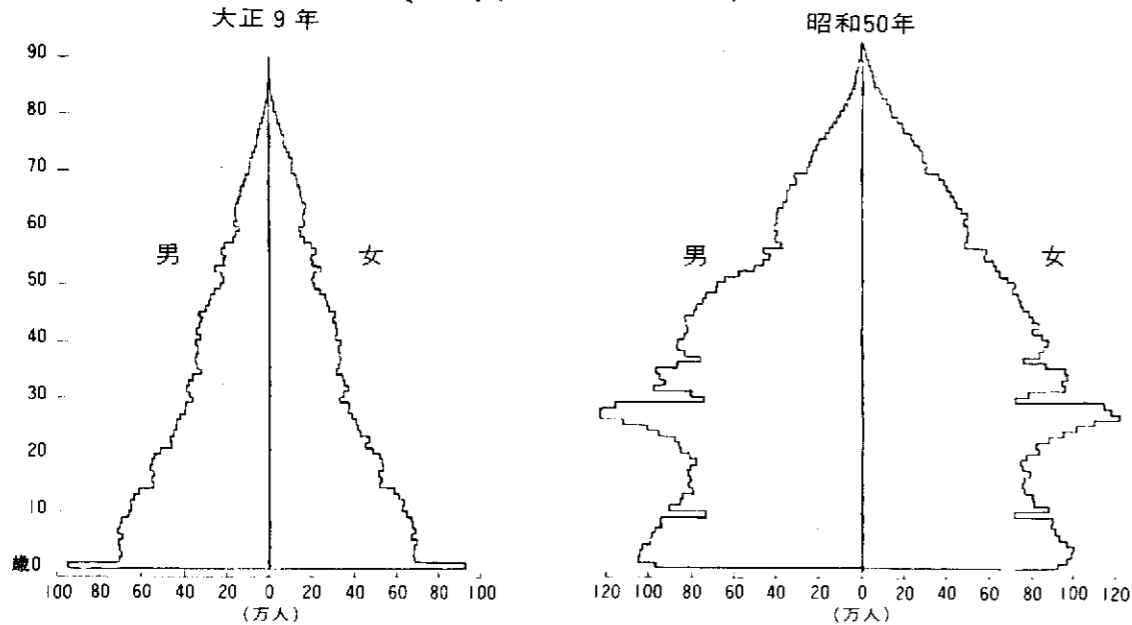
女 14,682 (+12)

世帯数 6,917 (+2)

8月31日現在

() 内は前月比

〔わが国の人口ピラミッド〕



▲高齢化の進むことを示す人口ピラミッド

十四年には十四、五％まで低下しています。出生率の低下は人口の老齢化とあいまって扶養負担度の増大など多くの政策的な対応を必要とする問題を引き起こすものです。これらの問題を明確に把握するために、今回の調査では十分の検討を重ねた結果、合計二十二項目の調査事項となりました。

◆今回の国勢調査は、国連のすすめで、アメリカ、イギリス、ソビエトを始め、世界人口の四分の一を占める中国も初めて参加する「一九八〇年世界人口・住宅センサス計画」の一環をなすものであり、国際的にも非常に重要な調査となります。人口問題は、世界が抱える大きな問題のひとつになっています。

調査票の記入についてお願い

国勢調査は、国内に住んでいるすべての人が対象です。九月二十四日から三十日までの間に、全国で約七十五万人の調査員が一般家庭をもちろん、下宿やアパート間借りをしている方々にも調査票の記入をお願いいたします。

旅行などで一時留守にしている方、三ヶ月以上わたって長期滞在している方、生まれたばかりの赤ちゃん、住込みの家政婦さんや従業員の方も対象となりますので、記入もれにならないようご注意ください。

集計はコンピューターによって

行われます。調査票は必ず黒鉛筆でマークワックいっばいに横線で太く濃く記入してください。なお、黒鉛筆以外のボールペンや万年筆などで記入しますとコンピューターがチェックできませんので、くどいようですが、必ず黒鉛筆（HBくらい）でお願いします。

また、調査票は汚したり、折ったり、丸めたり、あるいはごはんつぶなどがつかないよう、十分ご注意ください。また、誤って記入したときは、消しゴムできれいに消してください。

なお、記入していただいた調査票は十月一日から五日までの間に調査員が取り集めに伺いますのでそのときにお渡しください。

巻町人口予想懸賞募集

町では、国勢調査の普及と成果を高めるため、住民の皆さんから昭和55年国勢調査（昭和55年10月1日実施）の巻町の子想人口を懸賞募集しますので、多数ご応募ください。

▶懸賞募集事項…昭和55年国勢調査による巻町の常住人口

▶応募資格…巻町内に居住する人に限ります。

▶応募方法…①官製はがきを用い、1枚に1点のみ記入してください。②数字は算用数字ではっきりと③住所、氏名、性別、年齢、職業（児童生徒、学生は所属学校名と学年）を明記してください。

▶あて先…郵便番号 953、巻町10区巻町役場企画課あて

▶締切り…10月1日（当日の消印のあるものは有効とします。）

▶賞品…1等賞 5,000円相当の賞品（1人）2等賞 3,000円相当の賞品（1人）

▶当選発表…①12月までに県が公表する人口概数に一致したものを、本人に通知します。②応募の予想数字に同一のものがあつた場合には抽選で決めます。

《参考》

巻町人口のあゆみ

○昭和45年10月1日国勢調査 国勢調査人口…27,139人

○昭和50年10月1日 国勢調査人口…27,682人

○昭和55年10月1日 巻町推計人口…28,469人



▲調査員が9月24日～30日の間にお伺いします。巻町では165調査区を155人の調査員で調査します。調査票の記入は必ず黒鉛筆でお願いします。

世帯員の一人一人が調査の対象

ご協力をお願いします

十月一日は国勢調査

十月一日、全国いっせいに「昭和五十五年国勢調査」が行われます。対象の把握や内容の精度において、国際的にも非常に高く評価されるわが国の国勢調査は、今から六十年前、大正九年に第一回目が実施されました。

法律制定から実施まで十八年もの歳月を費しただけに、わが国のすべての人々が「文明国への仲間入り」を合言葉に、各地でサイレン、大砲が鳴り、新聞が華々しく報道し、当時としては珍しいポスターも貼り出されるなど、まさに鳴り物入りの大行事となりました。

以来五年ごとに実施され、今回の国勢調査は第十三回目に当たります。調査の対象となる全国の人口は約一億二千七百万人、世帯数で約二千八百万世帯というぼう大な数にのぼります。

国勢調査は、統計法第四条の規

定に基づいて実施されます。調査の実施者は内閣総理大臣ですが、実際の事務は総理府統計局が行い都道府県―市区町村―指導員―調査員という組織を通じて行われます。

巻町では百六十五の調査区を百五十五人の調査員で調査します。皆さんのご家庭には、九月二十四日と三十日の間にお伺いします。

◆国勢調査は、現在わが国が抱えているさまざまな問題を明確にし最も効果的な対策を生み出してゆぐために不可欠な調査です。

国の政治や行政の貴重な資料となるとともに、都道府県や市町村の地域社会に直結した行政に必要な資料を得るために行われるのです。とくに今回の調査は、最近のわが国の人口および世帯の動向を解明するものとして、以下の四点にその結果が注目されています。

- ①人口の急速な老齢化の進行―総人口にしめる六十五歳以上人口の割合は、昭和二十五年には四・九％であったものが昭和五十年には七・九％にも達し、欧米諸国と比べて、わが国は急速に老齢化へと向っています。
- ②人口移動の変化―Uターン現象とよばれる大都市から地方への人口移動の実態を明らかにし、その地域特有の問題、例えば住宅難、交通難、ゴミや汚水処理、あるいは公共施設、医療施設の充実などに、基礎的なデータを提供します。
- ③世帯数の伸びの鈍化傾向―世帯数の変化は、住宅需要の動向や世帯を単位とする財貨・サービスの需要などに大きく影響します。世帯数の伸びの鈍化が婚姻件数の減少によるものか、親と同居する夫婦の増加によるものかといった分析を含め、今後の世帯数の伸びの変化を詳細に知る必要が生じています。
- ④出生力の低下傾向―人口千人当りの出生率をみると、昭和四十八年に一九・四とピークに達した後、出生率は低下を続け、昭和五

角田山からゴミ追放

町長と職員三十五人が清掃登山

秋の登山シーズンを控えて、先ごろ町では、高野町長を先頭に職員三十五人が参加して、角田山のゴミを拾い集めるクリーン登山を行いました。

角田山は気軽に登れることから



▲拾ったゴミを1カ所に集める町職員、高野町長もゴミ回収に汗を流す (写真左から3人目)

家族づれや小・中学校の遠足などを中心に年間八万人の登山者でにぎわいますが、それに伴ってゴミの量も増え、現在町が委嘱している四人の角田山管理人の手には負えなくなっています。

「角田山をゴミの山にしてはならない」と、町では、登山者に対してゴミの持ち帰りのPRに努めています。それでもなお捨てられるゴミについては清掃登山で処分してきており、今年の登山で三年度になります。

町クリーン登山隊は、午前九時五ヶ峠登山口から出発。軍手にビニール袋を持って、ゴミを拾いながら山頂をめざしました。

おもに三ツ平、山頂長者ヶ原、観音堂前広場の三ヶ所でゴミ収集をしたところ、人目につきにくい茂みや木の下などに空カン・コーラびん・菓子箱の空き箱・空き袋がたくさん見つかり、職員は急傾斜のガケを下りたり、茂みをかき分けたりして集めて回りました。ビニール袋に集めたゴミを米袋にまとめたところ、実に米袋三十個分のゴミが集まりました。

「いやあ、ずいぶんあるんだなあ」と高野町長も顔の汗をぬぐいながら、ゴミの多さに驚いていました。

山の各所には「ゴミは捨てないで持ち帰りましょう」というPRカンパンを立ててありますが、そのカンパン付近にもたくさんゴミが散乱していました。また、山頂から投げ捨てられた空カン類も多く、回収しにくい急斜面に散らばっており、回収にはずいぶん骨を折りました。

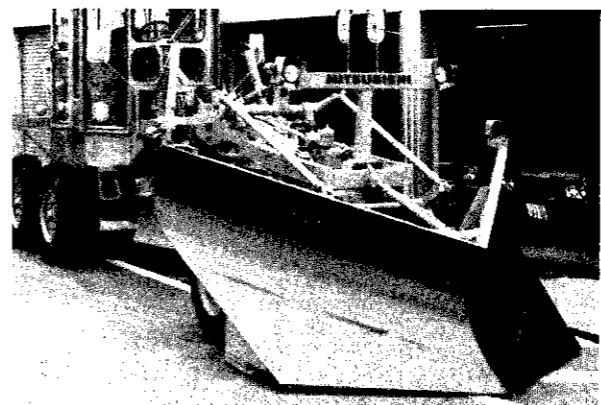
米袋に詰めた大量のゴミは、山頂から索道でふもとに下ろし焼却場で処分しましたが、町ではこのクリーン登山を年二回にふやすとともに、町民の皆さんにも「ゴミ

の持ち帰り運動」に協力を呼びかけています。

また、町では手押し式の「空カンつぶし機」を三台購入し、山頂に二台、観音堂前に一台近おかり付けることにしています。

なお、角田山をきれいにする運動として、町の登山クラブ「巻ハイキングクラブ」でも数年前からゴミ集めに協力してきており、その活動が高く評価され、八月二十一日、県観光協会から表彰を受けました。

今冬の除雪に機動力 大型グレーダーを購入



町では、47年購入のグレーダーを最新式の大形グレーダーに更新しました。これは建設省の雪寒地域建設機械整備事業として国庫補助を受けて購入したもので、購入価格は1,143万円、うち3分の2にあたる685万8千円が国庫補助です。グレーダー前面の排土板(Vプラウ)の巾は3.1メートルもあり、今冬の除雪に大きな機動力を発揮することになります。

フランスの民間大使が来町 国際交換生 パトリアさん19歳

国際ライオンズクラブの交換学生で来日したフランスのお嬢さんが、8月21日と22日の両日、巻ライオンズクラブの招きで当町を訪れました。彼女はパトリア・ジェフォーさんといひ、サボア大学で法律を専攻している19歳の学生。7月下旬に来日後、吉田町と新津市のライオンズクラブの世話で滞在していましたが、彼女は日本古来の武道を見学したり、実際に体験してみたいという希望があり、来町したものです。

第1日目は巻ライオンズクラブの歓迎会、2日目の午前中は竹野町保育園を見学後、高野町長を表敬訪問、夜は町営体育館で空手道、剣道、合気道の町武道クラブの練習に参加して、いっしょに汗を流しました。スポーツがとくいで、歴史小説が好きだというパトリアさん、帰国後は新潟県での体験をレポートにして提出するそうです。



▶高野町長を表敬訪問し、町の歴史などを聞く



▶けいこ着姿もりりしく初めて体験する空手道

お年寄りに生きがいを 老人福祉週間

九月十五日～二十一日

九月十五日は「敬老の日」です。この日から一週間は「老人福祉週間」です。

お年寄りは、これまで永年におたつて社会に貢献してこられました。長寿を心からお祝いとられたい。これからは今日までつちかっってきた知識と経験を社会に役立てていただきたいものです。こうしたことが、お年寄りの生

きがいになると同時に、世代を越えた新しいコミュニケーションの場にもなるのではないのでしょうか。

町の「老人生きがい対策推進事業」も、このような考えに立って実施されています。

お年寄りの福祉を進め、生きがいのある社会を築こうという「老人福祉週間」も、皆さんの家庭でも、お年寄りの役割分担をみん

なで考えましょう。お年寄りは自分の役割を通して、家族との接点を持ち、生きがいを見い出していくのです。

▼各地区では、この日を中心に、お年寄りの長寿をお祝いの「敬老会」などの行事が予定されています。

▼今年九十歳を迎えられるお年寄りの長寿を祝うために、九月十三日、町長を表敬訪問します。

該当する方は次のとおりです。

(明治二十二年四月一日から同十四年三月二十一日生まれの方)

☆阿部忠雄(八区) ☆内藤忠之助

やめよう! 稲ワラ燃やし

収穫後の稲ワラを燃やす農家がまだ多数見受けられます。

- (同) ☆筒井徳治(九区) ☆高田イシ(上区) ☆高島ミナ(十三区)
- ☆佐藤セヨ(漆山八丁) ☆阿部スズ(竹野町) ☆鈴木岩治(同)
- ☆金子リサ(福井) ☆梅沢善治(鶯の木) ☆山本トサ(松野尾) ☆斎藤サト(同) ☆小林スズ(越前浜)
- ☆篠沢ワブ(同) ☆早見チヨ(同) —— 敬称略。

稲ワラを燃やすと不完全燃焼による白煙が発生し、広範囲にわたって大気を汚染します。

この視界をさえぎる煙は、交通事故を引き起こす原因にもなり、また、人家に浸入して多くの人たちに不快感を与えます。つまり、一種のモテグ公害です。

農家の皆さん、ほかの人たちに迷惑をかける「稲ワラ燃やし」はやめましょう。

地力の増強に欠くことのできない稲ワラを、むぎむぎと燃やさないで、来年の米づくりのために堆きゆう肥にして大切に使うようにしましょう。

台風襲来に 備えましょう

台風襲来の季節です。あなたの家の対策はできていますか? 自主点検で被害を最少限に防ぎましょう。

(1) 雨戸の建つけは丈夫ですか。

(2) 瓦、ひさし、煙突のとりつけ部分のゆるみを直しておきましょう。

(3) 風で飛ばされるような物品を家の外に置かないように。

(4) 引込電線が樹木に接していないか確かめましょう。

(5) LPGボンベが風で転倒しないようにしておきましょう。

お知らせ



無料で交通事故相談

交通事故の相談と、日ごろ自動車保険になじみのない人が被・加害者の立場になった場合に、保険のしくみや保険請求の手続きなどをわかりやすく説明し円滑な支払いができるよう助言いたします。

▷なまえ 社団法人・日本損害保険請求相談センター

▷ところ 新潟市東大通1-2-30住友生命新潟ビル9階

(☎0252-43-0824)

※相談は無料で、平日は午前9時30分から午後4時30分(土曜は正午)まで、専門の相談員が親身になって相談に応じます。

納め忘れていませんか？ 国民年金の保険料

もし、保険料を納め忘れてしまうと、将来、老齢年金さえ受けられないおそれも出てきます。

今年3月以前に納め忘れた保険料でも、町住民課では受付けますのでお確めのうえ、すぐ納めるようにしましょう。

父子・母子・交通遺児 家庭の慰安旅行

- ▷とき 10月4日(日)～5日(日)
- ▷ところ 月岡温泉、大日原、安田アイランド
- ▷参加費 大人3,000円、小・中学生1,500円、幼児500円
- ▷申込み 9月20日までに西蒲原社会福祉事務所内郡母連事務局(☎5111)へ。

きのこ講習会(無料)

- ▷とき 9月19日(金)午前9時30分から午後3時30分まで
 - ▷ところ 越前浜「栄館」
 - ▷内容 午前中はきのこ採りで午後は試食会と講習会
 - ▷主催 食品衛生協会巻支部
- ※午前8時30分に巻駅前から会場行きの直通バスが出ます。昼食は各自でご持参ください。

文化会館催し物案内



新ヴィジュアルディ合奏団演奏会

10月23日(木) 巻町文化会館
開演18:30 終演20:30

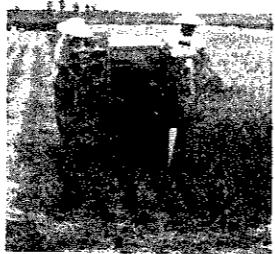
昭和55年度 県芸術祭・特別公演(無料)

- ◆演奏曲目
 - ・アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第1楽章 モーツァルト作曲
 - ・日本の四季より「春」早川正昭編曲
 - ・四季(全曲) ヴィジュアルディ作曲
 - ◆指揮 早川正昭、バイオリン外山滋他
 - ◆主催 新潟県教育委員会、巻町・湯東村教育委員会
- 入場整理券は文化会館窓口にあります。

作業停電

- ▶9月25日(木) 午前9時から正午まで四ツ郷屋の大部分。
- ▶9月29日(月) 午前9時から正午まで下和納の一部、島工業団地の全部。

農業の真しるべ



視察者の絶えない転作
—柿島の集団転作—
巻町農業振興協議会
西村 欣 策

「農業情勢はきびしい」という言葉は、使われて久しい。特に米作り農家は、「余る米」とともに、水田の処理に苦しみ、その対応に、明るい方向を見出しかねている。

ところが、わが巻町では、かつて、馬堀上組の共同対応委作りが、世の中に認められ、それにまた、一躍躍下はその名の知られた柿島部落がある。

柿島では、十八戸の農家が、五、二ヘクタールの転作を割り当てられているが、その割り当てを、部落共同の力で処理して、立派な成果をおさめている。

作物の選定を、「表作」ときめたが、その表作に大豆を取り入れ、その循環作付けで、土地を守り、国の要請に応えようとしているのである。

まず、苗代地帯五ヘクタールの

水田の「あぜ」を全部取り払い、共同作業の効果を二〇〇%にしている。

これは、労働力や機械の効率を高め、畑地化の効果をあげていて、他では見られない発想と方法であって、その実績が高く評価されている点である。

また、麦の前作に、大豆を取り入れたことは、最近の農家が、土地を愛し、土地を守るということを忘れがちの中で、肥料と本作物の組み合わせで、土壌を肥やし、雑草をおさえ、なお又収入の増につながらという、極めて周到な計画でもある。

しかも、この五ヘクタールの作業を、三人の専従者に委せて、労賃計算でまかなう、という、新しい経営方法を立てているが、これも世の中に迎えられる要素である。

ことしは、五ヘクタールという一面に、大豆の緑が広がっているが、この見事な姿には、県内各地から、切りもなく視察者が訪れ、北陸農政局や農水省などからもほめられている。

この後、第二次の転作が、部落の責任において、実施されるように指向しているが、柿島部落でのこの経営方式は、すでに世の中の進み方を先取りして、天下にその指導性を作り上げたものと言える。

巻町民生委員協議会が 全国表彰されました

巻町民生委員協議会(小林正直会長・委員四十五人)は、去る八月二十七日岐阜市で開かれた全国大会で、「優良民生委員協議会」として表彰されました。

同協議会は、老人、身障者、青少年、母子など広範な福祉活動を行っており、今回の表彰もその労が認められたものです。



巻中一横浜高吹奏楽部 がジョイント・コンサート

先ごろ県大会で金賞をとった巻中吹奏楽部が、8月29日夜、文化会館で第一回目の定期演奏会を開催しました。

京浜女子大・横浜高校吹奏楽部との合同演奏や日本フィルの戸部豊氏のトランペット独奏も企画され、迫力あるサウンドで1千人の聴衆を魅了しました。



▼ちようちん登山に500人

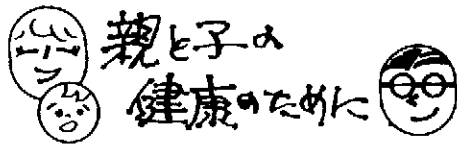
今年で八年目の角田山ちようちん登山は、八月二十四日夜、約五百人が参加して行われました。

一行は夜の山道を約一時間かけて登り、山頂観音堂広場で中腹から打ち上げられる花火を楽しみました。



▲園児を対象に交通安全教室

町では8月21日から10日間、町内すべての保育園、幼稚園を対象に交通安全キャンペーンを行いました。ストップマークを使った左右の安全確認訓練や、敏しょう性を養うシッポとりゲーム、環境課職員のオリジナル交通安全童話など、園児が飽きないようなプログラムを組んだ交通安全教室でした。



◆1歳半児検診

▷とき 9月25日(木)午後1時30分までにお集まりください。

▷ところ 役場大会議室(3階)

▷対象 54年3月生まれの幼児

◆3歳児検診

▷とき 9月30日(火)午後1時30分までにお集まりください。

▷ところ 役場大会議室(3階)

▷対象 52年7月~9月生まれの幼児

♥献血

▷とき 9月30日(火)午前9時30分から正午、午後1時から3時まで

▷ところ 役場南1玄関

◆婦人検診

月日	時間	場所
9月16日(火)	午前10時~10時30分 午後1時~2時	馬堀分館 〃
9月17日(水)	午前10時~10時30分 午後1時~2時	松野尾集落開発センター 越前小学校
9月18日(木)	午前10時~10時30分 午後1時~2時	卷町役場 〃
9月19日(金)	午前10時~10時30分 午後1時~2時	〃 〃

うぶごえ (昭和55年7月21日~8月20日届出)

氏名	生年月日	戸籍事項	届出者	区名
田中	5.26	健行	昭一	区木
佐藤	7.11	孝修	一	区の
石内	7.11	孝修	進	区山
小川	7.12	由美	幸一	区浜
白根	7.13	美彰	新	区区
保宮	7.16	真美	徹	区日
宮八	7.17	美也	泉	区神
遠水	7.17	希剛	幸夫	区区
小上	7.18	志子	三	区区
石野	7.19	美拓	士	区区
高海	7.19	美由	昌	区区
五山	7.20	美由	和	区区
和寺	7.21	美由	徳	区区
高中	7.22	友香	登	区区
中尾	7.22	友香	安	区区
丸尾	7.24	友香	由	区区
大村	7.25	友香	忠	区区
佐石	7.26	友香	繁	区区
山山	7.26	友香	江	区区
飛本	7.27	友香	元	区区
佐佐	7.27	友香	美	区区
山山	7.27	友香	介	区区
飛本	7.28	友香	吾	区区
佐佐	7.29	友香	郎	区区
山山	7.29	友香	美	区区
飛本	7.30	友香	允	区区
佐佐	8.1	友香	里	区区
山山	8.1	友香	幸	区区
飛本	8.1	友香	子	区区
佐佐	8.2	友香	子	区区
山山	8.2	友香	子	区区
飛本	8.4	友香	子	区区
佐佐	8.4	友香	子	区区
山山	8.5	友香	子	区区
飛本	8.7	友香	子	区区
佐佐	8.7	友香	子	区区
山山	8.7	友香	子	区区
飛本	8.9	友香	子	区区
佐佐	8.12	友香	子	区区

おくやみ (昭和55年7月21日~8月20日届出)

氏名	生年月日	届出者	区名
山崎	7.21	一郎	区下
高木	7.22	耕二	区山
小林	7.22	仁乙	区並
小本	7.24	川乙	区松
佐早	7.26	間高	区稲
山平	8.5	見重	区8
佐小	8.6	原征	区1
石星	8.8	藤ソ	区四
細小	8.9	元吉	区河
	8.11	義直	区3
	8.13	トク	区5
	8.16	直ク	区7
	8.16	セ司	区5
	8.18		区4
	8.18		区8
			区6

外 科

14日 大原診療所 ☎ 湯東 2037

15日 伊藤医院 ☎ 吉田 ② 3115

21日 県立吉田病院 ☎ 吉田 ② 5111

23日 桑原医院 ☎ ② 2221

28日 町立巻病院 ☎ ② 3111

9月休日救急病院

内 科

14日 金子医院 ☎ ② 8030

15日 大越医院 ☎ ② 2707

21日 西川医院 ☎ ② 6066

23日 長沼医院 ☎ ② 2210

28日 本田医院 ☎ ③ 2100

町立巻病院

からのお知らせ

◆小児科

午後からの休診日
9月25日(木)、30日(火)

◆面会時間

午後1時から3時まで
午後5時から8時まで